

弘前第一養護学校 SDGs通信

SDGs通信 第2号は、小学部の取り組みをお届けします。

小学部では、SDGsの学びを「身近な資源を大切にすること」をゴールに据え、日々の生活と結びついた学習に取り組んできました。

今回の通信では、児童たちの学びの姿や成長の様子をご紹介します。

研究授業一覧 小学部

研究グループ	教科・単元・題材名	取り上げるSDGs項目
小A低 (Aグループ1~3年)	生活単元学習 「食べ物 新発見!」	3.すべての人に 健康と福祉を 
小B低 (Bグループ1~3年)	生活単元学習 「花を育てよう、プレゼントしよう」	15.陸の豊かさも 守ろう 
小A高 (Aグループ4~6年)	生活単元学習 「そもそも紙はどこでできているの? ~身のまわりにある紙ってなあに~」	12.つくる責任 つかう責任 
小B高 (Bグループ4~6年)	生活単元学習 「りんごのリサイクル」	15.陸の豊かさも 守ろう 12.つくる責任 つかう責任  



身の回りにある「大切なものの」に気付く学び

小学部の学習は、こどもたちの生活に直結する題材を中心に進めました。



リサイクルや資源の循環に関する学習

- 身の回りにあるリサイクルマークを探したり、タブレットのミラーリング機能を使って発見を共有したりする中で、「ごみ」だと思っていたものが資源になることに気付きました。

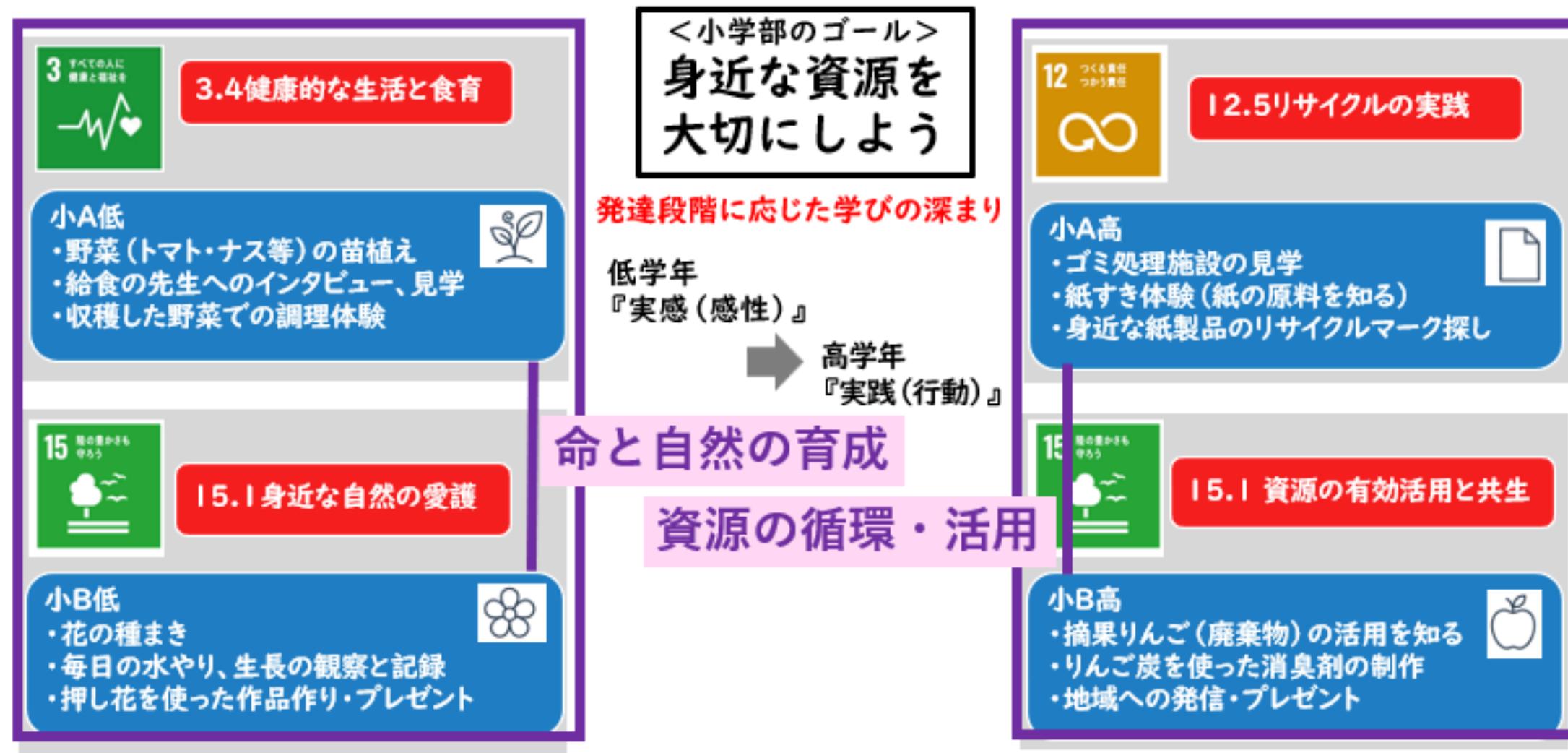
命や自然を大切にする学習

- 自然や生きものに触れる活動を通して、命の大切さや、自然とともに生きている自分たちの暮らしについて考えました。

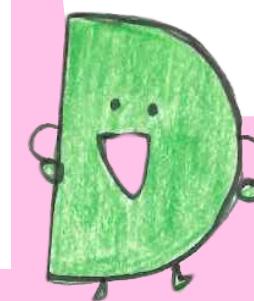
R7年度 小学部研究 SDGs相関図

ブルー：取り組み

赤：ターゲット



相関図とは、こどもたちが取り組んでいる学習活動が、どのように「SDGsの目標」や「地域の自然、文化、人々など」とつながっているかを表したもの。



学年に応じた学びの深まり

<低学年>

「見つける・知る・まねしてやってみる」活動を中心に、楽しみながら資源や自然に親しむ姿が見られました。



【『SDGsの視点を取り入れた授業づくり』の成果】

1.『人や社会とのつながりへの気付き』

Aグループでは、給食についての学習や栽培活動を通して、自分の食生活が多くの人々に支えられていることに気付くことができました。

2.『学びを他者へ生かす経験』

Bグループでは、花をプレゼントして喜ばれる経験を通して、自分以外の他者を意識することができました。



<高学年>

調べ学習や話し合いを通して、「どうしたら大切に使えるか」「自分たちにできることは何か」を自分の言葉で考え、発信する姿が増えてきました。



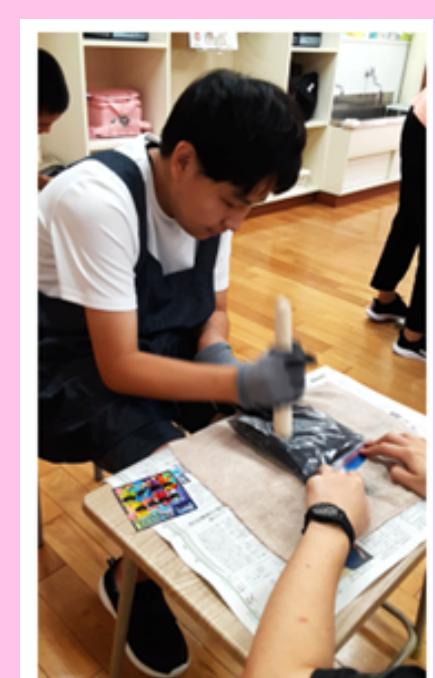
【『SDGsの視点を取り入れた授業づくり』の成果】

1.『地域・実生活とのつながり』

Aグループでは、リサイクルの学習を通して、これまでごみだと思っていた『古紙』を、大切な『資源』として捉え直し、家庭でも、自分からリサイクルマークを探すようになるなど、学びが実生活での具体的な行動変容として表れていることが確認できました。

Bグループでは、日々の学習の積み重ねが成果として表されました。

毎回の授業で、制作した『消臭剤』の効果・用途などに関するクイズに取り組んだところ、回を重ねるごとに理解が深まり、正答率が向上する姿が見られました。



2.社会への貢献としての『活用』

Aグループでは、『資源を守るために分別する』という、社会の一員としての責任感を高めることができました。

Bグループでは、消臭剤をプレゼントして喜ばれる経験を通して、『誰かの役に立つ』という自己有用感を高めることができました。



学びを通して見られたこどもたちの姿

これらの学習を通して、児童たちには次のような変化が見られました。

- 身の回りの物を丁寧に使おうとする意識
- 家庭でもリサイクルや節約について話題にする姿
- 友達の意見を聞きながら、考えを広げる姿

小さな気付きの積み重ねが、「大切にしよう」という行動につながっています。

小学部では、今後も、こどもたちの生活に寄り添ったSDGsの学びを大切にしながら、無理なく自然に「持続可能な行動」が身に付く授業づくりを進めていきます。

まいこらむ



昨年度、私は、中学部1学年の総合的な学習の時間で「りんごの学習」を担当しました。

第1時間目は、りんごについて「知っていること」「知らないこと・調べたいこと」を出し合う時間です。

私は、弘前第一養護学校に勤務するのが初めてで、通勤途中に目にする、横に広がるりんごの木や、真っ赤な（カーズ？のような）車が走る風景に不思議さを感じていることを、動画を交えて生徒たちに話しました（私が運転する車に乗って動画を撮影してくれた先生は、車酔いをしました…。）。

この日の学習の最後に、SDGsの17の目標が書かれたプリントを生徒たちに配り、「りんごの勉強は、この中のどの目標につながると思う？」と問い合わせました。放課後、そのプリントを見返していると、ある生徒が「4. 質の高い教育をみんなに」に○をつけていました。最初は驚きましたが、この授業に関わる私へのエールのように感じ、翌日その生徒に「ありがとう。先生、頑張るね。」と伝えた、あの日の出来事を今でも大切に覚えています。

Itsuki Sato

第3号は、中学部編をお届けします。中学部の取り組みを、ご紹介します！